				さまざまな生物の共通点と相違点を進化の視点に基づいて調べ、説明できる。	「チャレンジ」A (p.65) について考えさせ、答えさせる。	○	第1節で学んだことに基づいて、示された3つの生物について、進化の視点から共通点（多細胞、脊椎、卵生、変温動物等）と相違点（生息環境、体表、呼吸器官等）を調べ、説明することができる。	第1節で学んだことに基づいて、示された3つの生物について共通点と相違点を調べ、説明することができる。	示された3つの生物について、共通点と相違点を調べることができない。または内容が不十分である。				
				細胞の形態や機能について調べるための実験計画を立て、その結果を予想することができる。	「チャレンジ」B (p.65) について考えさせ、答えさせる。	○	第1節で学んだことに基づいて、トマトの果実を構成する細胞がすべて同じ形態や機能をもつかを調べるための実験計画を適切に立てることができる。また、その結果を適切に予想できる。	第1節で学んだことに基づいて、トマトの果実を構成する細胞がすべて同じ形態や機能をもつかを調べるための実験計画を立てることができる。	トマトの果実を構成する細胞がすべて同じ形態や機能をもつかを調べるための実験計画を立てることができない。				
				主体的に学習に取り組む態度	生物の多様性と共通性について主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	生物の多様性と共通性に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。	観察①「さまざまな細胞の観察」(p.35) における探究への取り組みを確認する。	○	取り組んだ観察をもとに、探究活動として身近な生物など他の材料での細胞の観察や、同じ材料の異なる部位での観察、異なる染色液を用いての観察などに実験計画を立てて試している。	○	取り組んだ観察をもとに、探究活動として身近な生物など他の材料での細胞の観察や、同じ材料の異なる部位での観察、異なる染色液を用いての観察などに実験計画を立てている。	○	探究への取り組みが見られない。または計画に具体性がなく不十分である。
							観察②「原核細胞の観察」(p.40) における探究への取り組みを確認する。	○	取り組んだ観察をもとに、探究活動として真核細胞と原核細胞を同時に観察できる材料を考え、実験計画を立てて試している。	○	取り組んだ観察をもとに、探究活動として真核細胞と原核細胞を同時に観察できる材料を考え、実験計画を立てている。	○	探究への取り組みが見られない。または計画に具体性がなく不十分である。
							「Quest」(p.29、33、38)、「問」(p.29、39)、「チャレンジ」A、B (p.65) などの発問に対する生徒のようすを観察する。	○	主体的に取り組む、自らの意見を他者と共有するとともに、他者の意見も傾聴し、各課題を十分に深めることができる。	○	主体的に取り組む、各課題を深めることができる。	○	主体的に取り組む姿勢が不十分である。
							学習内容をノート・レポートにまとめさせたり、学習内容についてまとめたことを発表させたりする。	○	学習のまとめが丁寧で適切である。学習内容について要点を他者にわかりやすく適切に発表・表現できる。	○	学習のまとめが標準的である。学習内容について発表・表現できる。	○	学習のまとめが不十分である。学習内容について発表できない。
							学習中に分からなかったことや新たに疑問に思ったことをどのように解決しようとしたかを表現する。	○	学習中に分からなかったことや新たに疑問に思ったことをどのように解決しようとしたかを具体的、かつ適切に表現している。	○	学習中に分からなかったことや新たに疑問に思ったことをどのように解決しようとしたかを表現している。	○	学習中に分からなかったことや新たに疑問に思ったことをどのように解決しようとしたかを表現していない。
次の単元に向けて自分の学習方法についての課題をどのように改善していくかを表現する。	○	次の単元に向けて自分の学習方法についての課題をどのように改善していくかを具体的、かつ適切に表現している。	○	次の単元に向けて自分の学習方法についての課題をどのように改善していくかを表現している。	○	次の単元に向けて自分の学習方法についての課題をどのように改善していくかを表現していない。							

観点別評価の方法と評価の基準例(例2)

科目名:生物基礎

<3つの観点による評価>

「知識・技能」の評価…知識の習得や知識の概念的な理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができてるか。

「思考・判断・表現」の評価…習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。

「主体的に学習に取り組む態度」…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか, 自ら学習を調整しようとしているか。

使用教科書 数研出版『改訂版 生物基礎』, 『改訂版 高等学校 生物基礎』

章	節	評価の観点	単元の目的	単元の評価規準	評価の内容	評価の具体的方法	評価基準の例		
第1章 生物の 特徴	第1節 生物の多 様性と共通 性	知識・技能	様々な生物の比較に基づいて, 生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また, 生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解すること。	生物の特徴について, 生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が「細胞からできている」, 「生命活動にはエネルギーが必要」, 「遺伝情報としてDNAをもっている」などの共通性をもつことを理解する。 ・生物のもつ共通性は共通の祖先に由来することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「節末チェック」①, ② (p.41)に答えさせる。 	A: Bに加え, 具体例を用いるなど, 自分の言葉で説明できる。	B: 学習した内容を活用して説明できる。	C: 説明できない。
						<ul style="list-style-type: none"> ・補充問題①～③ (p.65)に答えさせる。 	A: 3つとも自分で図示して, 説明ができる。	B: 図を見れば, 3つとも説明ができる。	C: 図を見ても, 説明ができない。
						<ul style="list-style-type: none"> ・観察①「さまざまな細胞の観察」(p.35)を行い, さまざまな生物に, 細胞からできているという共通性が見られることを確かめる。 	A: 観察ができ, かつレポートにまとめることができる。	B: 観察ができる, またはレポートにまとめることができる。(どちらか一方ができる)	C: 観察することができない, またレポートにまとめることができない。
						<ul style="list-style-type: none"> ・観察②「原核細胞の観察」(p.40)を行い, 原核細胞と真核細胞の違いを知る。 	A: 観察ができ, かつレポートにまとめることができる。	B: 観察ができる, またはレポートにまとめることができる。(どちらか一方ができる)	C: 観察することができない, またレポートにまとめることができない。
						<ul style="list-style-type: none"> ・「Quest」(p.29)について考えさせ, 答えさせる。 	A: Bに加え, どのように「適する」のかを説明できる。	B: 教科書の文章の例を用いて, 適する理由を説明できる。	C: 説明できない。
						<ul style="list-style-type: none"> ・「問1」(p.29)について考えさせ, 答えさせる。 	A: 哺乳類以外の生物例を二つ以上あげて, 説明できる。	B: 哺乳類以外の生物例を一つあげて, 説明できる。	C: 説明できない。
	思考・判断・表現	生物の特徴について, 観察, 実験などを通して探究し, 多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。	生物の特徴について, 観察, 実験などを通して探究し, 多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな哺乳類の比較に基づいて, 生物が生息環境に適した形態や機能をもつていることに気づき, 説明できる。 	A: 「Quest」(p.33)について考えさせ, 答えさせる。	A: すべての生物に共通する特徴を二つ以上見いだせる。	B: すべての生物に共通する特徴を一つ見いだせる。	C: 見いだせない。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・「Quest」(p.38)について考えさせ, 答えさせる。 	A: 見いだしたことを, 人に説明することができる。	B: 教科書の図を用いて, 見いだすことができる。	C: 見いだせない。		
				<ul style="list-style-type: none"> ・「Quest」(p.39)について考えさせ, 答えさせる。 	A: 自身の考えを, 根拠を示して説明することができる。	B: 自身の考えを説明することができる。	C: 説明できない。		
				<ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ」A (p.65)について考えさせ, 答えさせる。 	A: 共通点と相違点について調べており, かつ進化の視点で説明することができる。	B: 共通点と相違点を調べてはいるが, 進化の視点で説明ができていない。または, 進化の視点の説明ができていないが, 共通点と相違点について調べていない。	C: 調べておらず, また進化の視点で説明ができない。		
				<ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ」B (p.65)について考えさせ, 答えさせる。 	A: 実験計画を立てており, かつ結果の予想もしている。	B: 実験計画を立てているが, 結果の予想をしていない。または, 実験計画を立てていないが, 結果の予想だけをしている。	C: 実験計画を立てておらず, かつ結果の予想もしていない。		
				<ul style="list-style-type: none"> ・「Quest」(p.29, 33, 38), 「問」(p.29, 39), 「チャレンジ」A, B (p.65)などの発問に対する生徒の思考の過程を観察する。 	A: 収集した情報や, 他者から聞いた意見を検討し, 自分の意見と照らし合わせて, より意見を深めようとする過程を紙面に記録している。	B: 思考の過程を紙面に記録しているが, ICTなどを活用して収集した情報や, 他者の意見などを記録しようとしていない。	C: 思考の過程を紙面などに記録しようとしていない。		
主体的に学習に取り組む態度	【学びに向かう力, 人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 生命を尊重し, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。	生物の特徴に対して主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性に関心をもち, 主体的に学習に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習内容をノート・レポートにまとめさせたり, 学習内容についてまとめたことを発表させたりする。 ・「日常生活や社会との関連」(p.65)の調べ方を活用して, 生徒に課題の設定を行わせたり, レポートにまとめさせる。 	A: ノート・レポートにまとめたり, 発表をしたりした後, 自分の学習の振り返りを行っている。	B: ノート・レポートにまとめたり, 発表をしたりしているが, その後の自分の学習の振り返りをしていない。	C: ノート・レポートにまとめたり, 発表など, 授業後の学習のまとめや振り返りを行わない。		